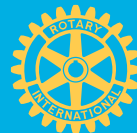




人類に奉仕する
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



会報

2016 ▶ 2017
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を拡げ
奉仕の和を拡げよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

プログラム

(第39号・第40号)合併号

- 本日
新会員歓迎会 / 夜間例会
- 次週予定
「我が生き立ち」
中井 祐史 会員

会員誕生日
中 川 勝 美

No. 2740
第39回 5月10日

出席報告

前
例
会

会員総数	35名
出免会員	5名
出免出席	2名
基準会員出席	15名
出席率	53.13%

前
々
会

第36回 4月5日

欠席会員	16名
内メイクアップ	6名
修正出席率	78.13%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 日本のロータリー100周年委員会より設立趣意書が届きました。2020年10月10日は、東京ロータリークラブが設立されてから100周年を迎えます。100周年に相応しい事業を展開する事によって、連帯感を育みロータリーの基盤を強化することを目的として設立されました。今後、アンケートなどで会員の意見を聞くと言うことです。

がありますが、だいたい20名前後になりそうです。バスを出しますので、バスの出発時間が決まりましたら、後ほどFAXを送らせて頂きます。

🗣️ 幹事報告

- 砂川RCより5月の例会案内を頂きました。
- 先日、皆様に出欠確認のFAXを流させて頂きました。現在、当日出席者は19名となっております。まだ何人か返事を頂いていない方

👤 委員会報告

地区国際奉仕委員会 燕地区委員
 毎年開催しています、タイの検証ツアーですが、毎年各クラブより参加者を募集して開催して参りましたが、本年はタイの諸事情により、委員会メンバーのみでの検証ツアーとなりました。日時は5月18日から5月22日までのツアーとなっております。本来は私も参加しなければならないのですが、会社の諸事情で参加できません。皆様には地区の委員会から後ほど報告をさせていただきます。よろしくお願ひします。

ニコニコBOX

- 地区研修協議会出席ご苦労様でした。
渡邊会長
- 地区研修協議会に初めて参加させていただきました。
次年度よろしくお祈りします。
青山会員

前 回	627,750円
今 回	2,000円
累 計	629,750円

プログラム

「地区研修協議会に参加して」

大嶋 次年度クラブ奉仕委員長

地区研修講義会に出席し、クラブ管理部門・広報部門の第3分科会に参加して参りました。最初に広報部門のお話があり、次に管理運営部門についてお話がありました。

クラブ奉仕委員会は、ロータリーの四大奉仕部門の第一部門で、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、を支える管理部門であり、CLP導入で2014～15年度羽部ガバナーの時、クラブ奉仕部門はクラブ管理運営部門と呼ばれるようになりました。しかしながら各クラブでは名称を変える必要が無いという事です。クラブ管理運営部門には、例会運営委員会、親睦活動委員会、広報委員会、会員増強委員会、会員研修委員会などの小委員会を統括する委員会であるという事です。

次にクラブ管理運営委員会の活動方針の説明があり、その後CLPの話がありました。一番最初にCLPという言葉が出てきたのは2010～2011年度佐々木ガバナー(二ノ宮年度)の時、会員増強やクラブ活性化のためCLPの導入を検討しようという事が地区目標になり、CLP、DLP導入検討プロジェクトチームが作られ、2012～13年度細川ガバナーの時(山本年度)、各クラブにCLP導入しようとCLP特別委員会が出来、各クラブにCLPを導入しようという事になりました。その後2013～2014年

度安孫子ガバナー(中出年度)の時、各クラブにCLP導入のアンケートを行い、59%のクラブがCLPを導入しているそうです。CLPの導入は、ただクラブ組織を簡素化するというのではなく、簡素化する事によってクラブを活性化させるということなのです。

私がこの地区研修協議会に出席して感じた事は、留萌クラブもCLPを導入しているが、CLPがうまく機能していないのではないかと、クラブ奉仕委員会という委員会はありますが、何も機能していないのではと思いました。各クラブの委員長さんと少し話しましたが、CLPをどの様に活用していけば良いのか分からない様子でした。小委員会の繋がりをもっと密にし、CLPの導入を留萌クラブの活性化のために、活かした方が良いと思いました。2010～11年度二ノ宮会長年度の時、CLP導入に伴い河部会員を委員長にした長期計画委員会を立ち上げました。この委員会などは毎年開催しても良いのではないかと思います。

以上、クラブ奉仕委員会の地区研修協議会の報告とさせていただきます。

福士 次年度国際奉仕副委員長

地区研修協議会国際奉仕部門・VTT委員会部門に委員長所要の為、私が代理で出席してまいりました。大きく変わった所は、2015～16年度は国際奉仕委員会と職業研修チーム(VTT)に分かれていましたが、2016～17年度では合同委員会として国際奉仕・VTT委員会として一つの委員会になっています。VTT委員会の役割は、「海外の地区に専門職種のスキルアップを図るためのチームを組織し派遣する」となっています。しかし2510地区の地区補助金の使途は、各クラブの奉仕活動の補助金や奨学金の資金に使われています。そのため地区補助金をVTTで使うと、各クラブの補助金に支障をきたすため、VTTはロータリー財団のグローバル補助金を使う事になりました。グローバル補助金を受けるには、「6つの重点分野」のいずれかに合致しなければならず、国際奉仕委員会と合同委員会を設置し一つのプロジェクトを行う事

になった経過説明がありました。また、V T T派遣には地区財団委員会、国際奉仕委員会を中心に派遣する専門職種のメンバーが選任され、社会奉仕、広報、ライラ、学友委員会等も加わり、「職業支援事業実行委員会」となり進行されたということです。

お手元に、2016～17年度国際奉仕・V T T事業の事業実績と2017～18年度国際奉仕事業モデルプランを配布いたしました。2016～17年度の実績の方は、相手クラブ、タイ3340地区ノンカイRC12件、タイ3350地区、バンコククロントイRC1件となっています。図書事業が2件、職業訓練事業が3件、水道事業が1件、メンテナンスが5件、奨学金事業が5件となっています。出資金の構成は、財団補助金100万円、地区事業費83万円、各クラブから156万円、留萌RCからは5万円出資しています。2017～18年度の国際奉仕事業モデルプランは、相手国タイ3320地区ノンカイRC、タイ3350地区クロントイRC、タイ3360地区ランナチェンマイRCとなっています。

その他、色々説明ありましたが、最後に2017～18年度の国際奉仕事業資金申請書の提出をお願いしますとの事です。各クラブで予算を計上し、主催クラブになり資金を出してくださいとの事でした。

青山次年度社会奉仕委員長

初めて地区研修協議会に参加させて頂きました。次年度、理事になる意気込みと緊張と兼ね添えての気持ちで参加させて頂きました。朝早くから夕方までの時間、正直飽きないかなとも思いましたが、それどころではありませんでした。最初は何気なく始まった研修も体験する内に、自分は何が出来るのかなと思ひ、先輩達の話聞いて自分なりに解釈していきました。しかし、中でも丸山先生のお話が一番面白かったです。丸山さんのお話は登別の新人研修の時講師をしていただき、お話をお聞きしました。とても温かく、そして時折笑わせていただき、実に楽しいお話を一言一句聞いていたのを思い出します。あっという間にお昼時間になり、昼食

はお弁当を各自の部屋で分科会別に食べる事になっておりましたので、自分の社会奉仕の部屋に行き食事を取る事になっておりましたのですが、初めてお会いする方ばかりで皆さん黙々とご飯を食べていました。そして昼食が終り、分科会に参加を致しました。只々空いている席に座っただけなのですが、座った数秒後にサブリーダーの方が来てお話をされ、「その席に座った方は議事進行の役目をする事と代々決っていますのでお願いします」と来ました。なるほどと理解して、自己紹介後に各クラブの社会奉仕の例と抱えている現実問題、これから考案している事業を紹介していただき、留萌クラブは、あんどんと通園センターへの奉仕のお話をさせて頂きました。

今年は植樹をメインに地区の方で考えているみたいですので、色々な事業を体験できる年度でもある事を予感しました。与えられた使命と出来るからこそと思ひ、指名していただいた留萌ロータリークラブの役職を全うしようと思ひます。日々を噛みしめて、自分が修練と奉仕と友情を感じて、邁進出来る毎日に感謝し、自分の人生を向上出来るように頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお祈りします。

渡部次年度会報広報委員

2017～18年度国際ロータリー地区研修協議会に、武田委員長の代わりに出席して参りました。

午前の部では、ガバナーエレクト国立金助氏の基調講演があり、2017～18年度イアンH Sライズリー会長のR Iテーマ「ロータリー・変化をもたらす」についての説明がありました。激しく変化する時代に対応するため、ロータリーも常に変化し続けなければならない、という事でした。また、次年度地区ガバナーの国立エレクトの次年度テーマ「取り戻そうロータリーの心」についての説明もありました。その後、塚原パストガバナーの講演があり、次年度の留意点として各クラブの出席率が悪くなっており、例会出席の意義について話され、会員資格が2016年度規定審議会で緩くなった事などが話されました。確かに例会での欠席が多いと会が盛

り上がりませんし、段々沈滞していくと思います。

その後、私の後輩でもある丸山バストガバナーの基調講演がありました。塚原バストガバナーと同じような事を言っておりました。出席の問題や会員身分の問題、そして青少年奉仕部門の問題などを話されました。それから昼食に入り、午後の部は講師に中村靖治バストガバナーの講演があり、「ロータリーを語ろう」という演題で話されました。講演の中身は、ロータリーシップ研究会についてとD L Pについてなどが話され、その後各分科会に分かれて、私は大嶋会員と一緒に第3分科会クラブ管理運営部門並びに広報I C部門に出席をしました。管理運営部門では会の活性化や出席率の向上、会員増強などが話されました。私の担当部門、広報I C部門では、主にマイロータリーの登録について話され、広報は分かりやすく、ネットやラインを使って動画などを使用し、多くの理解者を得る努力をする。そして、今年度は地区で財界さっぽろにロータリーの記事の掲載を協力依頼している事の説明がありました。C L PやD L Pの話もされましたが、しばらくぶりに地区協議会に参加し、大変疲れました。それで懇親会には出席はしないで帰って来ました。以上です。

西谷 次年度社会奉仕副委員長

第7分科会青少年奉仕部門に参加して。

4月8日に札幌パークホテルで開催された、地区研修協議会に参加して参りました。午前の部に関しましては会長エレクトがお話になっていると思いますので、省略させていただきます。午後の部では、7つの分科会に分かれ、勉強させて頂きました。進行としましては、西方次年度青少年奉仕委員長の挨拶で始まり、小委員会の地区インターアクト、地区ローターアクト、地区R Y L A、地区青少年交換委員会の委員長4名のアドバイザーの紹介があり、西方委員長から全般の説明があり、その後、次年度の地区委員会の活動予定をスクリーンを使っての説明を聞き、休憩を挟んで、地区各クラブの青少年

事業の紹介で5クラブの発表がありました。

トップバッターで留萌クラブが指名されたので、最近の留萌クラブの青少年奉仕、特別支援教育を必要とする児童への支援、留萌市幼児療育通園センターへの支援、青少年剣道・弓道大会の開催について事業内容を説明いたしました。その後、1グループに6～7クラブの10グループに別れ、新たな事業について討議しました。私がグループの議長を務め、各クラブの取り組みを聞きましたら、大体各クラブ同じような事業を行っていました。

阿部 次年度幹事

当日は午前中本会議、午後から講演、分科会分科会報告という一日でした。

午前中の本会議では、規定審議会代表委員として丸山P Gの規定審議会のお話がありました。標準定款において、委員会の項目が加えられました。定款には今まで理事役員だけでしたが、そこには委員会として、クラブ運営管理、増強、公共イメージ、ロータリー財団、奉仕プロジェクトの5つの委員会を常任委員会にする事が望ましい、とされています。P Gいわく、「望ましい」と書いてあるのは、「変えて下さい」という意味です。そう理解してくださいとの事でした。この部分については、現状留萌クラブの細則と相違点があるので今後検討する必要があると思います。

午後は、ロータリーリーダーシップ研究会の日本支部ファシリテーター委員長の中村様の講演がありました。ロータリーリーダーシップ研究会は、2008年に日本支部が作られた新しい機関です。何をするかと言うと、指導者としての資質を持った特定のロータリアンをクラブの会長の指名で教育を受けさせる機会を提供する所です。ロータリー活動を前進させていくのに、必要な指導力に関する乏しい知識しか持ち合わせていないままクラブ会長に就任する事に問題があるという考えのもと設立されたようです。

1992年にニュージャージー州で作られたこの機関が15年かけて日本に支部を置くまで広まってきました。講演の内容について話し始めると、

時間が無くなるので割愛します。

分科会は、第2分科会の幹事部門に入りました。函館RCの森川次年度地区代表幹事をリーダーとしてサブに今年度の橋本代表幹事、アドバイザーとして熊沢PG、サブアドバイザーとして広報IC委員会、地区財団補助金委員会、ポリオプラス委員会、それぞれ次年度副委員長というメンバーでした。橋本代表幹事からは「会長がやりたい事に協力して下さい。そしてとにかく一生懸命やる事が大事」というポイントを押さえたお話がありました。熊沢PGからは「クラブで行われるすべてに関わる仕事です。大変ですが頑張ってください」との事でした。また羽部PGからは「幹事は執行部門の代表者として、内閣総理大臣に例えられている大事な役割です。頑張ってください」との事でした。

サブアドバイザーの3名は、次年度特に重要視されている活動の説明でした。

地区財団補助金については、3年前の寄付金と恒久基金の運用益の1/2が各クラブの補助金として使用できるものですが、3年前の2014～15年度羽部ガバナリーの寄付金が大きく影響して、昨年の1.3～1.4倍の財源がある事が説明されました。今年度も30万円を上限として募集しております。締め切りは5月末必着ということでした。

ポリオプラス委員会に関しては、最近の3年間を切り取っても徐々に減ってきて、本当にあと一歩まで来ている状態です。まだポリオ撲滅に必要な費用は15億ドルと試算されております。これは順調にウィルスの伝播が止まった場合の試算で、止まらず他の地区で広がった場合、年間8億ドルが余計にかかります。額が大きすぎてピンときませんが、地区としては全会員×30ドルを数値目標に掲げ取り組んでいきたいという事です。レートにもよりますが、非常に高い目標と言わざるを得ません。ご協力をお願いします。加えて、函館で行われる地区大会には全員がエンド・ポリオ・ナウのバッジを付ける事を要望されました。捨ててしまったという方はいないと思いますが、一度探していただければと思います。

広報IC委員会の説明は、先ほど広報委員会の説明がありましたマイロータリーの全員登録のお話でした。詳細は省かせて頂きますが、本気で全員登録を目指す地区委員会の意思を感じました。地区としてその為の行動を起こすという事なので、お話がありましたら協力していきたいと思っております。報告は以上です。

プログラム

(第39号・第40号) 合併号

●本日
「我が生い立ち」 中井 祐史 会員

結婚記念日
古野 晃 洋

●次週予定
「IM」/羽幌サンセットプラザ

No. 2741

第40回 5月17日



前例会

会員総数.....35名
出免会員.....5名
出免出席.....4名
基準会員出席.....20名
出席率.....70.59%

前々会

第37回 4月19日
欠席会員.....14名
内メイクアップ.....8名
修正出席率.....81.82%

例会/毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

1. 4月27日第11回定例理事会並びに第6回クラブ協議会を開催しました。4月末の会計報告と5月6月の例会プログラムの承認と5月21日羽幌にて開催のIMについて討議しました。

- 中井さん、入会おめでとうございます。活動楽しみにしています。 鵜城会員
- 良い事がありますように。 鈴木会員
- 旬のタケノコいただきました。おいしかったです。 福士会員
- 新築かかりました。 大嶋会員
- GWに増毛でたくさんうけました。

幹事報告

- 深川RC、芦別RCより5月例会案内を受領しました。
- 2016~17地区広報IC委員会より、「ロータリーの公共イメージ向上におけるお願い」が届いています。公共イメージ向上について情報を集約、活用するために全国のクラブから地元新聞などに掲載された、クラブ奉仕活動事例をPDFにて5月29日までに送って欲しいとの内容です。

- 佐々木会員
- やっとなり体調が良くなりました。8kg程細くなりました。洋服がダブダブです。 山本会員
- 体調が良くなってきました。 高田会員
- 日刊留萌に後頭部が載ったみたいです。
- 西谷会員
- 久しぶりに出席しました。 宮尾会員
- 今日も元気です。 串橋会員
- 長女が富良野で一人暮らし始めました。

ニコニコBOX

●中井会員、入会おめでとうございます。
渡邊会長

- 良い事がありました。
高橋幹事、渡部、佐藤、長谷川、燕、堀 各会員
- NPO法人留萌観光協会の新任理事になりました。 関野会員
- 理事になりました。 対馬会員
- 中井会員さん、ようこそ留萌RCへ。 堀会員

プログラム

新会員
歓迎会

